

Japanese  
Testimony  
50-0814

証し (テストイモニー)  
クレーブランド オハイオ州 アメリカ合衆国  
195年08月14日



[www.messagehub.info](http://www.messagehub.info)

ウィリアム・マリオン・ブラハム  
"...第七の御使が吹き鳴らすラッパの音がする時には、神がその  
僕、預言者たちにお告げになったとおり、神の奥義は成就され  
る。" 黙示録 10:7

## はじめに

際立ったウィリアムブラナムのミニストリーは、マラキ4章4,5,6及びルカ書17:30と黙示録10:7と多くの聖書の預言に対する聖霊からの答えなのです。この世界規模のミニストリーはこの終わりの時に聖霊による神の御業の継続なのです。それは聖句の中にあり、イエスキリストの再臨のためにある人々を整えるために立ち上げるために必要とされていると書かれています。

あなたが祈り深くこのメッセージを読むとき、この印刷された御言葉があなたの心に刻まれるようにと祈ります。

メッセージの正しい転写、翻訳を提供できるように最善を尽くしておりますが、英語の録音がウィリアムブラナムによって語られた説教をもっともよく表しているものです。

オーディオや転写された1100の説教がウィリアムブラナムによって語られたものが無料でダウンロード可能で又多くの言語で印刷可能になっています。(日本語での翻訳あり)

変更が行わないかぎり、メッセージを無料でコピー、配布することは許可されています。

## 証し (テストイモニー)

1 私は…バクスター兄弟に感謝しております。皆さん、こんばんは。

今夜ここに来ることができて本当にうれしく思います。病んでいる方々や必要を抱えている方々のために祈り、ここにいる間、できる限り皆さんのお役に立ちたいと願っています。

聖書を少しお読みしたいと思いますが、先ほど小さなトレーラーの中でバクスター兄弟の今夜のメッセージを聞き、大いに恵まれておりました。神が彼に油を注ぎ、あのよう語らせてくださったことを本当にうれしく思います。神が私たちのただ中で働いてくださっているのです。

そして今夜、ここにクリスチャンの方々が集まっているのを見ることができて、とても喜んでいます。この国では大きな出来事の一つが、あそこで行われている球技の試合だと聞きました。

ある人がこう言いました。「試合が始まったら、あなたは天幕の中で一人きりになりますよ。」と。

しかし、それは違います。

神の民は神を愛しているのです。分かりますか。

2 それでは、すぐに聖書を読み、祈りの列に入りたいと思います。

ヨハネによる福音書第4章46節からです。

さて、イエスは再びガリラヤのカナに来られた。そこは水をぶどう酒に変えられた所である。そこにカペナウムに息子のいる一人の王の役人がいた。その息子は病気であった。

この人は、イエスがユダヤからガリラヤに来られたと聞いて、イエスのもとに行き、下って来て息子を癒してくださるよう願った。息子が死にかけていたからである。

そこでイエスは彼に言われた。

「しるしと不思議を見なければ、あなたがたは決して信じない。」

その役人は言った。

「主よ、子どもが死なないうちにおいでください。」

イエスは彼に言われた。

「帰りなさい。あなたの息子は生きる。」

ここに注目してほしいのです。もしこれが祈りの列だったなら、彼は祈りのカードを欲しがったでしょう。そしてイエスに自分の家まで来て息子を癒してほしいと願いました。しかしイエスは家へは行かれませんでした。まず彼に率直に語られたのです。

「しるしを見なければ、あなたがたは信じない。」

彼は言いました。

「主よ、来てください。さもないと子どもが死んでしまいます。」

(50節を見てください。)

イエスは言われた。

「帰りなさい。あなたの息子は生きる。」

すると、その人はイエスが語られたことばを信じて、帰って行ったのです。

聖書の順序を見てください。

イエスがまず「息子は良くなる」と言われました。そしてその人は、イエスの言われたことばを信じたのです。ここが大切です。

そして51節。

彼が帰って行く途中、しもべたちが出迎えて言いました。

「ご子息は生きておられます。」

——何かが起こっていたのです。

彼は尋ねました。

「いつ良くなり始めたのか。」

(つまり、いつ悪い状態から回復へ向かったのか、ということです。)

それを外しなさい。

キリスト・イエスがあなたを健やかにされました。

——そして、あちらのテントの反対側に立っているあなた。

長い間、結核を患っていましたね。療養所にもいました。

それゆえに数日前ここに来たのですね。

今この瞬間、イエス・キリストを信じなさい。

そうすれば癒されます。

——兄弟、立ちなさい。

主イエス・キリストがここにおられます。

その癒しの力を、あなた方一人一人に流すために。

——姉妹、立ちなさい。

信仰を持ちなさい。

あなたは……連れて来られましたね。

主はここにおられます。

ただ信じなさい。

全能の神、いのちの創造主、  
 すべての良き賜物の与え主よ、  
 ここにいる癌で死に瀕している女性を癒してください。  
 杖にもたれている盲目の男性を、  
 そして小さな子どもを。  
 ああ神よ、憐れみをお与えください。  
 これらの人々を、イエス・キリストの御名によって祝福してください。  
 アーメン。

49 前に進みなさい。

祈ってほしい方は、こちらへ。  
 演台の周りに集まってください。  
 そのとおりです。  
 神があなたを祝福してくださいますように。  
 ——見てください。  
 あの兄弟が救急用ストレッチャーから立ち上がっています。  
 案内係の皆さん、周りに集まって支えてあげてください。歩けるように。  
 あの女性も……痺れていたのに、立ち上がっています。  
 ハレルヤ!  
 立ちなさい、愛しい方。  
 主イエスを信じなさい。  
 神があなたを癒されたのです。  
 ——そちらで、耳に補聴器のようなものをつけているあなた。

彼らは答えました。

「きのうの第七時に熱が下がりました。」

そこで父親は、それがイエスが「あなたの息子は生きる」と言われた、まさにその時であったと知りました。

そして——

(“そして”は接続詞です。)

彼自身が信じ、そして彼の家族も皆、信じたのです。

3 彼は、それがイエスが「あなたの息子は生きる。帰りなさい。」と言われた、まさにその時であったと知ったのです。

そしてその人は、イエスが言われたことは真実であると信じました。

さて、もし彼がこう言っていたらどうでしょう。

「まあ、とにかく帰ってみよう。しかし正直、がっかりだ。イエスに家まで来てもらって、手を置いてもらいたかったのに。」

おそらく、その息子は生きなかったでしょう。

しかし彼は、イエスのことばを真実として信じました。

だからこそ、今夜私たちもここにいるのです。

イエスが言われたことは真実だと、私たちが信じているからです。

人々が何と云うかは別の問題です。

しかしイエスが言われたことについては、私たちはそれを真実として立つ準備ができています。

そのことを覚えていてください。

さて、祈りの列を作る前に、少し証しをしたほうがよいと思います。

これから毎晩、できるだけ主の御霊の中に、より深く入っていけるように努めたいのです。

4 私は今日一日中祈っておりました。この集会のために備えようとしていたのです。今は第二週に入っています。

これほどの期間、このような集会を続けてきた中で、記憶している限りでは、今夜の聴衆はこれまでで一番少ない人数かもしれません。

しかし私は聴衆のことを心配しているわけではありません。

これ以上に敬虔で、これ以上に良い信仰を持った集まりがあったとは思えないのです。皆さんが今ここに持っている信仰以上のものは、なかったと思います。

本当にそうです。

私は心から信じています。神はここにいるすべての人を癒してくださいと。

心の底からそう信じています。

友よ、私は人生で一つのことを願ってきました。もう一度それを見ることです。

かつて一度だけ、建物の中にいたすべての人が、同時に癒されたのを見たことがあります。本当に一度だけです。

しかも、ここにいるよりも二倍、三倍もの担架や簡易ベッド(コット)に寝かされた人たちがいました。

彼らはベッドを積み重ね、松葉杖を投げ捨て、人々はその建物から歩いて出て行き、神を賛美していました。

私は信じています。

一度起こったことは、もう一度起こり得ると。

5 さて、ペンテコステの日には、彼らはみな一つ所に集まり、心を一つにして、神の約束が自分たちに来ることを信じていました。

それなら、今夜私たちに与えられる神の約束を、どうして信じることができないでしょうか。

さて、私自身について言えば――

主は今も働いておられます。

48 さあ、皆さん。

ここに盲目の兄弟がいます。

そして、後ろには斜視の小さな男の子がいます。

神がそれをなさると信じませんか？

今、あなた方に求めます。

今この瞬間、神に対して決断をしてください。

神がこれを成してくださいと信じる、と。

お父さん、私の言うことを信じるなら、

今夜あなたは歩いて帰ることができます。奥様が支えてくださるでしょう。

あなたも、立ち上がって歩くことができます。

全能の神よ、

すべての人のただ中に臨在しておられる方よ、

今夜ここにおられます。

ここにいる苦しみ、必要を抱えた人々に憐れみをお与えください。

ここに横たわる年老いた母を、サタンが麻痺で縛っています。

主イエスよ、

神の御子の御名によって、その悪霊を叱責します。

この貧しい母を縛っている霊よ、出て行け。

神よ、祈り続けているあの貧しい男性を祝福してください。

主イエスの御名によって、立ち上がらせてください。

この女性が床から起き上がり、癒され、健やかになりますように。

私を神のしもべとして信じますか？

外から押されるようにしてここまで来られたのでしょうか。列に並んで……。

でも、ここで正直にお話ししなければなりません。私は福音を宣べ伝える者ですから。

あなたは「胃の病気だ」と言われてきましたね。

そうでしょう？

しかし、それだけではありません。

ほかにも問題があります。

この演台の上から、それをそのまま言うのは……あなたを怖がらせてしまうかもしれません。

でも、もし心から神を信じるなら……

問題は骨にあります。そこなのです。

しかし、心から神を信じるなら、神はあなたを癒してくださいます。

信じますか？

姉妹、あなたも信じますね？

この兄弟が癒されると。

——そちらに横たわっている姉妹、

神がなされるなら、そのがんが去ると信じますか？

そして、この小さな赤ちゃんはどうですか、姉妹？

あなたはどうですか？

その関節炎も……

神があなたのためにそれをしてくださると信じませんか？

信じなさい。

(ここに手を置いて、神がご存じですが。)

私は自分にできる限りのことをしています。本当に、できる限りのすべてを。

昼間は祈り、そして夜になるとここへ来て、自分にできる最善を尽くそうとしています。

祈りの列のことばかりを人々が考えすぎるようにならないように、

ある一つのことだけに思いを集中しすぎるようにならないように。

ただ、私の知る限り最善の形で保とうとしているのです。

それは、神の御霊が人々の心の中に入り、すべての人を癒すことができるようにするためです。

分かりますか。

それが私の努めていることです。そして神はそれをご存じです。

6 今日、リンゼイ兄弟と私は話をしていました。

リンゼイ兄弟は立派な方です。ホール兄弟も同じです。

私たちはここで祈りのカードを配っていますが、カードを受け取ったすべての人のために祈るつもりでいます。本当にそうです。

夜に祈れなかった方々は、朝の10時30分の集会で祈ります。リンゼイ兄弟とホール兄弟がそこで祈りの列を持っています。素晴らしいことが起こっています。

皆さん、もし時間が迫っていて、まだ祈りの列に入れていないなら、月曜日でも、あるいは毎朝10時30分の集会に来てください。

私はあの兄弟たちと共に歩んできました。彼らの生活も知っています。彼らは本当に神に救われた立派な人たちです。

しるしと不思議は…それは信仰を奮い立たせるものです。そして朝の集会でも、神がそれを確証してくださいます。

夜の集会で入れなかったなら、朝の集会に来てください。祈ってもらいたい

なら来てください。神は彼らの祈りに答えてくださり、大いなることがなされま  
す。

7 今日の午後、私たちは話をしていました。

リンゼイ兄弟が私のほうを見て言いました。私たちは四年間一緒に働いて  
きましたが、あのような声の調子を聞いたのは初めてでした。神の御霊がそう言  
わせたのか、あるいは私はそのように受け取ったのかもしれませんが。

彼は言いました。

「ブラナム兄弟、時の尺度から見て——私は長い間、1953年には何か大  
きなことが起こるだろうと言ってきました。そして、あとおよそ一年ほどしか残っ  
ていないと私は信じています。」

さて、友よ、よく覚えていてください。私たちはこのことを真正面から見つめ  
なければなりません。

神はまず憐れみを送らずに、裁きを送ることは決してありません。

しかし、その憐れみの後には、必ず裁きが来ます。

憐れみを拒むことが、常に裁きを招くのです。

そして今——

使徒時代の初め以来、これほどのしるしと不思議が人々の前に置かれた  
ことはありません。

しかし同時に、何千という人々が、思い上がり、高慢で、神を愛するよりも  
快樂を愛する者となっています。

見てください。

イエスは言われました。

「人の子が来る時もノアの日の様になるであろう。」

8 覚えておいてください。私はアメリカ人です。

三代、四代前にさかのぼっても、私たちはアメリカ人です。多くのブラナム  
家の者たちがこの国に根を下ろしてきました。

そのとおりです。

——あなた、兄弟。

癒されたいですか？

あなたの心臓の問題は、もう去りました。

神を賛美し、喜びなさい。

——姉妹、あなたも神経の問題で苦しんでいましたね？

そうでしょう？

立ち上がって、「主をほめたたえます」と言いなさい。

そして癒されなさい。

疑ってははいけません。

神を信じなさい。

そうです、兄弟。

それが癒しを受ける道です。

——姉妹、あなたには長い間、徐々に進んできた麻痺がありますね。

そうでしょう？

今夜、神があなたに勝利を与えてくださると私は信じています。

あなたも信じますか？

この演台から私が主に願えば、主があなたを癒してくださると信じますか？

本当に、心から信じますか？

そして立ち上がり、家へ帰ることができるかと信じますか？

そのように信じますか？

47 こちらを見てください、兄弟。

彼女を苦しめている霊よ、  
 主イエスの御名によって、彼女から出て行け。  
 離れよ。イエスの御名によって命じる。  
 ……今、聞こえますか？  
 もう終わりました。はっきり聞こえますか？  
 皆さん、聞こえますか？  
 「アーメン」と言ってください。  
 あなたの関節炎も、婦人科の問題も、  
 これまでのすべての不調も、もう去りました。  
 さあ、大きな声で「アーメン」と言いなさい。  
 アーメン。  
 そのとおりです。  
 喜びながら歩いて行きなさい。  
 生涯、心を尽くして神を賛美し続けなさい。  
 46 ああ……あなたの姉妹ですか？  
 あなたも祈りを受けたいのですね？  
 では、姉妹、立ってください。  
 あなたはここまで来なくてもいい。  
 私の言うことを信じますか？  
 長い間、精神的な神経の苦しみに悩まされてきましたね。  
 そのとおりでしょう？  
 イエス・キリストは、もうあなたを癒されました。

先日フランスを歩いていたとき、多くの兵士たちが戦争で倒れ、そこに横たわっているのを見ました。  
 この前の戦争では、私には四人の兄弟がいました。  
 そのうちの一人は、海軍で四年間務め、絶望的な状態になって帰ってきました。その後、祈りの列で私を手伝ってくれました。  
 何百人もの兵士が身体を損ない、二度と椅子から立ち上がれなくなりました。  
 別の兄弟は、砲弾の破片が体を貫きました。  
 もう一人は何かに衝突し、背骨に圧力がかかり、一生の間、何週間ごとに脊椎に処置をしなければならぬと言われました。パットン将軍の戦車と共に進軍していたとき、溝に落ちたのです。  
 私も行きたかった。  
 もしまた同じことが起これば、私はまた行こうとするでしょう。  
 この国が戦う価値のない国なら、そこに住む価値もないのです。  
 その通りです。私はアメリカ人です。  
 しかし——  
 この壇上に立っている一人の奉仕者として、はっきりと言います。  
 私たちは裁きへ向かっています。  
 9 神はイスラエルを愛しておられました。  
 しかし、イスラエルが罪を犯したとき、蒔いたものを刈り取ったのです。  
 そして私たちも、裁きを迎えることになります。  
 これを心に刻みなさい。私がこの壇上から語ったことを覚えておきなさい。  
 それが起こるとき、私が言ったことを思い出してください。  
 クリスチャンの友よ、そして罪人の友よ。

もし私が神から遣わされた者だと信じるなら、できるだけ早く神の国を求め、そこに入りなさい。それが今日、私たちにとって唯一の安全なのです。

この世界は時代の終わりにあります。

キリストのうちにのみ、救いがあります。

私はあなたを怖がらせるために言っているではありません。

この壇上に立ち、できる限り正気で、真実に語っているのです。

しかし、私の心はしばらく前から強く揺り動かされています。

何か近づいていることを私は知っています。

ですから、入りなさい。

そしてクリスチャンの皆さん、もはやその生ぬるい状態にとどまらないでください。

すべてを脇に置きなさい。

できる限り神に近づきなさい。

神と共に歩み、神と語りなさい。

あなたの祈りの生活以外のすべてを、二の次にしなさい。

いつも神と共に歩み続けなさい。

10 それでは、今から病人のために祈ります。

どうか静まり、敬虔でいてください。

祈りましょう。

天の父よ。

今夜、奇妙な思いを抱きながら、私はこの世が欲望の中に流されていくのを見ています。そして神の裁きがそれに続くことを知っています。

ソドムとゴモラのように、彼らの罪は神の御耳にまで達しました。そして神は二人の御使いを遣わし、義人を呼び出し、彼らを分けられました。

あなたの胃の問題はもう去りました。

家に帰って、食べたいものを何でも食べていいよ。

神があなたを祝福してくださいますように。

お父さん、あなたにも祝福がありますように。

さあ、皆で言いましょ。

「神をとこしえに賛美します。」

次の患者さんをどうぞ。

45 心から信じますか？

私が言うとおりにしますか？

では、家に帰るとき、通路を歩きながら、

両手を高く上げて、声の限りに叫びなさい。

あなたの関節炎は、ここに入る前からもう去っています。

ハレルヤ。

そのとおりです。アーメン。

神はこの建物の中で語る事がおできになります。

信じますか？

皆さん、静まってください。

——少し待ってください。この女性は聴力のためですね。

皆さん、頭を垂れてください。

全能の神、いのちの創造主、

すべての良き賜物の与え主よ、

どうかこの方に祝福をお与えください。

あなたの胃の問題は去りました。もう大丈夫です。

神が祝福してくださいますように。

皆さん、祈っていますか？

……よろしい。

さあ、皆さん静まってください。

44 姉妹、どうぞ前に来てください。

神があなたを祝福してくださいますように。

神のしもべとしての私の言葉に従いますか？

あの演台の端まで歩いて行き、足を上下に踏み鳴らしてごらんなさい。

そうすれば、あなたの関節炎は去ります。

はい、そのまま行ってください。

今どう感じますか？

もう大丈夫ですね？

神があなたを祝福してくださいます。アーメン。

さて、次は……その小さな男の子ですね。

こちらへおいで、坊や。

こっちを見てごらん。

私を信じるかい？

小さな子どもの信仰、それは純粋な信仰だ。

信じるかい？

神があなたを癒すために私をここに遣わされたと信じて、

神の預言者、しもべとしての私の言葉に従うかい？

——聖霊が今、民に呼びかけておられます。この世のものから自らを分け、背教の印が押される前に、神の印、すなわち聖霊のバプテスマを受けるようにと。

主よ、それをお与えください。

今夜この天幕の下に集められている私たちを助けてください。私たちがいつここを去ることになるのか、誰も知りません。

私たちの証しが至る所に響き渡りますように。

垣根や大路、小路にまで呼びかけ、

不義の者を悔い改めへと導き、

病める者と苦しむ者を癒すことができますように。

今夜ここに、そのしるしが現れますように。

あなたの御子、イエスの御名によって祈ります。

アーメン。

11 少しお話しします……今は全部を詳しく語る時間はありませんが……

皆さんが落ち着いて、備えている間に。

少しの間、どうか注意を集中してください。

このことが最初に私に起こった時のことを思い出します。

私は前に進み出るのをためらっていました。どうしても踏み出せなかったのです。

しかし、これについてもう少し理解するなら、皆さんも入りやすくなるでしょう。どうやってこれを始めればよいのか、私は考えていました。

しかし友よ、神はいつも私の前に出て道を備えてくださいました。

その頃、私はまだ制服を着ていました。インディアナ州の自然保護官(ゲーム・ウォーデン)でした。

そして私は家に帰りました……

私の赤ちゃん、小さな娘——今は四歳になります。

その二、三週間前に、主は私を訪れてくださいました。私はこう祈りました。

「主よ、赤ちゃんが生まれるまで待ってくださるなら、私は行きます。」

主はその恵みの特権を私に与えてくださったのです。

12 赤ちゃんがちょうど家に帰ってきた頃でした。

私はキャットニップティー(赤ちゃんに飲ませるお茶だったと思います)の瓶のふたを取りに行きました。小さな子どもたちに与えるあのお茶です。

それで、その瓶のふたをもらいに行ったのです。

ついでに給料の小切手を換金しようと店に入りました。当時の給料は週30ドルでした。

店に入る前、レイビルから来たバスが通りの角に止まり、誰かが降りてきました。ジェファーソンビルはとても小さな町です。

その男が私をじっと不思議そうに見ているのに気づきました。

私はメイソン薬局に入って小切手を換金しました。外に出たとき、瓶のふたをポケットに入れていました。

その時、誰かが私の肩に手を置いて言いました。

「すみません。」

振り向くと、それは先ほど私を不思議そうに見ていたあの男でした。

彼は言いました。

「あなたは役人のようですね。」

私は答えました。

「インディアナ州の自然保護の仕事をしています。」

彼は言いました。

「ある人を探しているのですが、もしかすると助けてもらえるかもしれませ

できますか？

……それでいいのです。

あなたも、彼女のために同じようにしてください。

43 ああ、皆さん……どうして私に分かるのか。どうか信じてください。

今この集會に、神が入り込もうとしておられるのです。

神は……今ここで大いなる注ぎを与えたいと願っておられます。

皆でそのために祈りたいと思いませんか？

私が間違ったことを言うと思いますか？

振り向くと、この建物の上に、どこか重たいものがかかっているように感じるので。

今、あの油注ぎは私の上には強くは来ていませんが、すぐ近くにいます。

あの写真を持っている方はいますか？

見たことがありますね？

あの写真に写っている同じものが、今ここにいます。

私はそれを「もの(Thing)」と呼ぶしかありません。

「マリヤのうちにある聖なるものは、神の子と呼ばれる」と言われました。

それは聖なるものです。

兄弟姉妹よ、ただ信じてください。

神に信仰を置きなさい。

あなたが患者さんですか？

心から信じますか、案内係の兄弟？

神があなたを祝福してくださいますように。

家に帰って夕食を食べなさい。

完全に、すっかり健康にしてください。

イエス・キリストの御名によって願います。アーメン。

神があなたを祝福してくださいますように、姉妹。

喜びながら進みなさい。

幸せに、主を賛美しながら歩みなさい。

さあ、皆さん、静まってください。

42 あなた、今こちらに指を向けましたか？

……分かりました。ただ静かにしててください。

あなたは祈られたい患者さんですね？

ここに寝かされている方々を見ると、本当に胸が痛みます。

きっと急いで連れて来られたのでしょう……。

さて、あなたはお母様のために来ているのですね。

神があなたを祝福してくださいますように、姉妹。

あなたの状態は分かります。

何が悪いのかも言えます。

でも、ただ信じてください。

神はあなたを癒してくださいと、私は本当に信じています。

本当にそう思っています。

兄弟、あなたも信じてください。

では、列の端へ行く前に、そこの二人の担架の方々をお願いします。

私のほうをまっすぐ見て、

神があなたに憐れみをかけ、癒してくださいるように祈ってください。

ん。この辺りには詳しいですか？」

私は言いました。

「はい、かなり詳しいです。ほとんど一生ここに住んでいますから。」

13 彼は言いました。

「では、私の話をしましょう。二年ほど前から体調を崩しているのです。ケンタッキー州のパデューカから来ました。川を二百マイルほど下った所です。」

そして言いました。

「昨夜、不思議な夢を見ました。天から大きな明るい御使いが降りて来て、インディアナ州ジェファーソンビルへ行き、“ブラナム”という名前の人を訪ねて祈ってもらいなさい、と告げたのです。」

そしてこう尋ねました。

「この町にブラナムという名前の人をご存じですか？」

そのとき、私は心が張り裂けそうになりました。

私は言いました。

「母がこの角を曲がった所で下宿屋をしています。母の名前はブラナムです。」

彼は言いました。

「本当ですか？あなたもブラナムという名前ですか？」

私は彼に腕を回して言いました。

「兄弟よ、三週間前、私は自分の部屋に立っていました。その時、大きな光が部屋の中に輝き、主の御使いが現れて、私に祈りに行くよう告げたのです。」

彼はその場で泣き崩れました。

私たちはその街角でひざまずきました。

私は帽子を取り、公衆の通りの真ん中でひざまずきました。

私は祈りました。

「父よ、私は理解できません。しかし、あなたはこの人を遣わし、主の御使いが私に告げたことを証しさせられました。」

祈り終えて顔を上げると、人々が帽子を取って立ち止まり、子どもたちを後ろに下がらせて見守っていました。

誰も騒いでいません。ただ立って見ていたのです。

私は公の広場の街角でひざまずいていました。

神はその場で彼を栄光のうちに癒されました。

14 その数日後、いや、数週間後でしたが、別の出来事が思い出されます。

先日の夜、私が話したことを覚えていますか。アーカンソー州カムデンで、あの御使いが私のいる部屋に入って来られたことを。

その翌日、私は小さな教会に行きました。朝の礼拝で説教するためです。病人のための祈りはありませんでした。ただ説教するだけでした。

私はかなり疲れきっていました。何日も何日も、まともに横になることもできず、ベッドに身を横たえる程度か、椅子に座るくらいでした。

人々は私を家から家へ、場所から場所へと連れて行きました。

その小さな教会で話す予定でした。

外へ出ようとしたとき、四人の警官が私を外へ導くために立っていました。出入口に立っていたのです。

そして外に出ようとしたとき、人々が……。

ああ、兄弟姉妹よ、鉄のように強い人の心でも張り裂けるでしょう。

私は人間です。

ここに立って、あのよう横たわる小さな子どもたちを見ると……私にも子どもがいます。

病んでいる人々を見ると、こう思います。

その思い煩いを、今ここで手放しなさい。

それがあなたを縛っていたのです。

主はあなたを自由にされました。

だから、そのまま自由の中を歩きなさい。

41 よろしい。どうぞこちらへ、奥様。

恐れなくていいのです。

イエスはただこう言われましたね、「恐れるな、恐れるな」と。

何もあなたを煩わせてはなりません。

こんにちは、姉妹。手をどうぞ。

こちらを向いてください、少しだけ。

心から信じていますか？

いくつか問題がありますね。

血圧が少し高い。

糖尿もありますね。そうでしょう？

頭痛も続いている……そうですね？

ほとんどいつも……そうでしょう？

主があなたを癒してくださると信じますか？

では、祈りましょう。

天の父よ、

この姉妹がここに立っています。あなたは彼女のすべてをご存じです。

どうか彼女を癒してください、愛する神よ。

憐れみをお与えください。

姉妹、今、出て行きました。

今まさに去っています。

見てください。

私の手は普通のままです。

私が顔を上げる前に、目を開ける前に、正常に戻っていますね？

そうでしょう？

完全に去りましたね？

それなら、あなたは癒されています。

40 さあ、皆さん、顔を上げてください。

ここに立っているこの女性ですが、私は手をまったく動かしていませんでした。そうですね、姉妹？

同じ場所に、そのままでしたね？

そして今、もう一方の手と同じように、すっかり滑らかになっていますね？

あのいぼのようなものも、腫れも、ぶつぶつも、すべて消えましたね？

本当ですね？

まったく普通の状態です。

では、あなたはもう癒されています。

喜びながら進みなさい。幸せでいなさい。

ほら……今また少し見えますよ。

それを手放しますか？

ただ……手放しなさい。

あなたがずっと心配していたことがありますね。

本当は心配しなくてよいことです。

「神よ、私は何ができるでしょうか。」

しかし、私は何もできません。

主が告げられること以上のことはできません。

もしそれ以上のことをしようとすれば、失敗になります。

15 私は外へ出て行きました。

人々は私の服に触れようと、群衆の中をかき分けながら泣いていました。

そのとき、誰かが叫ぶのが聞こえました。

「憐れみを、憐れみを、憐れみを。」

ふと振り向いて見ると、少し離れた所に一人で立っている人がいました。

アーカンソーには、いわゆる「ジム・クロウ法」というものがあり、黒人と白人は一緒にいられないことになっていました。私は南部出身ですが、それが正しいとは思いません。

その人を見ると、年老いた黒人の男性が立っていました。白髪が輪のように縁取るように残り、帽子を手に持っていました。隣には奥さんが立っていました。

彼は両手を上げていました。

まったく目が見えない様子で、

「憐れみを、憐れみを」と叫んでいました。

涙が頬を伝って流れていました。

16 私は、エリコの門に立っていたあの盲人バルテマイを思い出しました。

彼は周囲を探りながら、歩き始めたのです。

そのとき聖霊が言われました。

「彼のところへ行きなさい。」

私は向きを変えました。

人々は言いました。

「ブラナム兄弟、あちらへは行かないでください。」

しかし私は言いました。

「聖霊が、あそこへ行けと言われるのです。」

それで私は彼のところへ向かいました。人々が輪を作りました。

私は決して忘れません。彼の奥さんがこう言ったのです。

「牧師さんがあなたのところへ来ているわよ、あなた。」

私は彼のそばまで歩いて行きました。

彼の年老いた、か弱い手が下がり、こう言いました。

「わ、わ、わたしの前にいるのは、ブラナム牧師さんですか？」

「はい、そうです。」と私は答えました。

彼は私の顔に触れて、言いました。

「ああ、あなたは若い方だ。」

「いいえ、そんなに若くはありません。三十六歳です。」

彼は私の顔を手でなぞりながら言いました。

「ブラナム牧師さん、少しお時間をいただけますか？」

「はい、もちろんです。」

彼は言いました。

「わたしの年老いた母は、あなたが持っているのと同じ“信仰(リジョン)”を持っていました。」

(“リジョン”と彼は言ったのです。)

「母は一度もわたしに嘘をついたことがありませんでした。母はもう何年も前に亡くなりました。わたしはこの十年ほど盲目で、盲人年金を受け取っています。ここから二百マイルほど離れた所に住んでいます。あなたのことは生まれて

(スペイン語の兄弟方?……イタリアの方ですか?)

39 よく見ていてください。

今から、あなたのために神に癒しを求めます。

もし手がそのままの状態なら、何も起こっていません。

もし変化が起きれば、神があなたを癒されたということです。

それで三つの証しになりますね?

では、あなたは自分の目で見ていてください。

私は手をできるだけ動かさずに保ちます。

さきほどこちら側で見た状態を、同じようによく見ていてください。

皆さん、女性以外は頭を垂れて祈ってください。

あなたは祈りの心でいながら、私の手を見ていてください。

天の父よ、

ここにいるこの姉妹に憐れみをお与えください。

彼女は癒しを求めて来ました。

今、私の手をじっと見つめています。

主よ、あなたは彼女の性質も、状態もご存じです。

あなたが示されたゆえに、私はここで語っています。

父よ、どうか彼女を癒してください。

あなたは言われました。「人々にあなたを信じさせ、誠実であるなら、どんな病も立ち向かえない」と。

今、この姉妹を癒してください。

彼女の体を苦しめている霊よ、

神の御子イエスの御名によって、この女性から出て行け。

見てください、この手。

さっきの手と違いがあるでしょう？

小さな白いぶつぶつのように見えますね。

泡のような、小さいいぼのようなものが走っている。

私は手を動かさずにいます。

あなたがよく分かるように。

そして他の人にも話せるように。

今、少し引いていますね。

姉妹、あなたは神経がとても敏感です。

それに加えて、腎臓の問題もあります。

そのとおりです。神経から来ています。

ほら、また来ました。

見えますか？ また現れました。

皆さん、この女性をご存じですか？

……そうですね。

姉妹、こちらを向いてください。

あなたはとても真面目で、誠実な方だと私は思います。

そして今、御霊の油注ぎを感じていますね？

それは今、あなたの上に臨み始めたところです。

そうでしょう？

もしそうなら、手を挙げて、皆さんに示してください。

……そうです。

一度も聞いたことがありませんでした。」

「しかし今朝三時ごろ、わたしは部屋で目を覚ましました。もちろん見えません。でも、目の前に母が立っているように感じました。わたしは言いました、『母さん、あなたですか？』」

「母は言いました、『そうよ、息子よ。アーカンソー州カムデンへ行きなさい。起きて服を着て、“病人のために祈っているブラナムという人”を訪ねなさい。あなたは視力を受けるでしょう。』」

「それで、ブラナム牧師さん、わたしは服を着て、ここに来ました。助けていただけますか？」

ああ……。

私は思いました。

「神よ、もしあなたが証しされないなら、これらの石が叫び出すでしょう。何かが、必ず語られなければならない。」

17 私はその人の目に手を置き、祈りました。

「父よ、私は理解できません。しかし、あなたはこの兄弟をここに遣わされました。どうか彼の視力をお与えください。」

手を下ろすと、彼が微笑みながら目をぬぐっているのが見えました。

周りを見回し、にっこりして言いました。

「見えるよ、おまえ。」

奥さんが言いました。

「見えるの、本当に？」

彼は言いました。

「もちろんだ。あそこにいる人たちが見える。あの後ろに止まっている赤い車も見える。」

その瞬間、奥さんはその場にひざまずき、声の限りに叫びました。

ちようどそのとき、人々が一斉に押し寄せ……。

気がつくと、私は車の中にいました。

私はこう思いました。

「神はすべてをご存じだ。」

神は幻や夢、啓示を通して人々に語る事がおできになる。

神は人々を遣わす事がおできになる。

そして今夜も、主イエスは同じお方です。

18 父よ、どうか今夜、私たちのただ中にいてください。

ここにいて、必要を抱えたすべての人を癒してください。

これから前に進み、敵に立ち向かい、あなたが私に行くよう告げられたこれらのしるしと不思議を行うために、どうか祝福してください。

主よ、あなたがそこにいてくださることを私は知っています。

あなたは決して失敗なさらないし、あなたの約束を見捨てることも決してありません。

どうか人々に大いなる信仰をお与えください。

このリバイバルも第二週に入りました。

やがて大いなる裁きがこの町を襲う前に、あなたが憐れみを呼びかけておられると信じています。

今夜、何かが起こり、魂があなたのもとへ勝ち取られ、あなたの御名が栄光を受けますように。

御子イエスの御名によって祈ります。

アーメン。

それでは……

100番までありますか？

昨夜はどこまで進みましたか？

ただ「はい」か「いいえ」で答えてください。

それは器質的な病ですか？

体の内部の問題ですね？……そうですか。

では、私が何にも触れる前に、私の手を見てください。

ご覧のとおり、何の変わりもありません。

神がご存じのとおり、私はあなたのことを何も知りません。

今、ここに手を置きます。

ほら、私の手は普通のままです。

では、あなたのハンカチをここに置いて、その上に手を乗せてください。

……変わりはありませんね？

では、もう一方の手を、同じように置いてみてください。

さあ、見てください。

腫れて、赤くなり、色が濃くなっているでしょう？

ここに現れています。

この人差し指を押すとき、見ていてください。

ほら、横へ走るのが見えますか？

目で見えますね？

あなたの問題は何か分かりますか？

婦人科系の障害です。そうでしょう？

信じますか？

今、自分の目で見ていますね。

……

それを言ったのは、あなたを励ますためです。

さて、ひとつお聞きします。

私があなただの体の病について語ったことは、あなた自身が真実だと知っていることでしたね。でも、あの“別のこと”を語ったとき、それがあなたの信仰をさらに強めたのではありませんか？ そうでしょう？ 主が私に、あなたにそう伝えよと言われたからです。

そして今、あなたが心から信じたので、主はあなたを癒されました、姉妹。

私が話しているその瞬間に、それが関わっていました。あの言葉を語り、あなたが正しく信じたそのとき、それは去ったのです。

さあ、あなた自身が分かるために……

私を信じますか？

それなら、両手を高く上げてみなさい。

両方とも、上へ。

そして足をこうして上下に動かしてごらんなさい。

ほら、何ともありませんね。

リウマチも、他のものも、もうすべて去っています。

神の祝福を受けながら、喜びつつ進みなさい。

さあ、皆さんと一緒に言いましょ。

「主をほめたたえます。」

38 あなたはこの集会の働き人のお一人ですね。

その個人的な働きが好きですか？……そうですか。

でも今は、ご自身が癒しを求めてここにきておられる。

一つだけお聞きします。

何が悪いのかは言わなくていい。

25番から40番まででしたか？

それでは40番から始めましょう。

(祈りのカードM-40からM-55までの方、祈りの列にお並びください。)

ピアノの方、前に来て「主よ、御もとに近づかん(Abide With Me)」を弾いてください。

19 今、何人呼びましたか？

25人ですか？

今夜は何人呼びましたか？

15人ですね。

もしかすると、今夜はもう少し多く祈れるかもしれません。できるなら、もう一度区切りを作って、もっと祈れるようにしましょう。

主が今夜は少しプログラムを変えたいと望んでおられるように、私は感じています。

先ほど、胸が張り裂けるような光景を見ました。

小さな女の子が座っていて、盲目の男性の手を持ち上げながら、「今、私は信じます」と賛美が歌われていました。

ああ……。

どうしてこんなことがあるのでしょうか。

信仰を持ちなさい。

皆さん、信じなさい。

神はご存じです。

もし私に何かできるなら、どんなことでもしたいと願っていることを。

ああ、もしできるなら。

できるなら、私はします。

しかし、私は他の人と同じように無力なのです。

私は、主が語られることしか語れません。

主が行えと言われることしか行えません。

私が話しているその男性も、その小さな女の子も、きっと分かっているでしょう。

神が彼らを祝福されますように。

兄弟よ、神があなたを祝福されますように。

20 皆さん、どうか静まり、敬虔にしてください。

ピアノの方、「主よ、御もとに近づかん(Abide With Me)」

を静かに弾いてください。

この歌、好きでしょう？

私は本当にこの歌が好きです。

私が願うのはただ一つ——

「主よ、私と共にいてください。」

私は主なしでは生きられません。

主なしでは生きたいとも思いません。

主は私のいのちです。

私のすべてです。

主なしでは生きられないことを、私は知っています。

そして皆さんも、生きられないはずです。

だから、主が私と共にいてくださることを願うのです。

(祈りの列の準備ができましたら。)

どうか本当に静まってください。

天の父よ、

この方がここに立っておられるのを見て、私は自分の母がああ集会の後ろに座っている姿を思い出します。きっとこの手も、これまで多くの人を助けてくれたことでしょう。

神よ、どうかこの方を助けてください。

何年も前、どこかの母親がこの方を揺りかごであやし、涙をぬぐい、口づけして慰めたことでしょう……。今、その母はもういないかもしれません。

けれど、今もなお、すべての涙と重荷をぬぐい去ることのできる御手があります。

それは神の御子、イエスです。

私はこの年老いた姉妹を祝福し、お願い致します、父よ。

どうかこれからも多くの日々、健康と力をお与えください。

この方がなおもあなたを栄光することができますように。

イエスの御名によって。アーメン。

神があなたを祝福して下さいますように、お母さん。

恐れなくてください。そのまま進みなさい。

大丈夫です。神が祝福して下さいます。

……その手をそのように当てておきなさい……。

37 それでそれが来たのです。少し神経質ですね？

目も悪い。それで眼鏡をかけておられる。

それから、リウマチもありましたね……。しかも以前より悪くなっている。そうでしょう？

もちろん、主が語ってくださらなければ、私は知りようがありません。そうですね？

でも、それは真実でしょう？

わが姉妹よ、あなたの癒しのために祝福します。

神の御子、主イエス・キリストの御名によって、あなたが癒されることを願います。

私を信じますか？

今の祈りを聞きましたか？

それなら、あなたは癒されています、姉妹。

もう何ものも、これから先それを妨げることはできません。

さあ、喜びながら行きなさい。幸せでいなさい。

今、気分は良いでしょう？

喜びつつ進みなさい。神がしてくださいます。

さあ、皆さんと一緒に言いましょ。

「主をほめたたえます。」

心を尽くして主を愛していますか？

さあ、皆で……。

36 神があなたを祝福してくださいますように。

心から私を信じますか？

それはあなたから去らなければなりません……。

今とても弱っておられますね。年齢からくる婦人科の問題があなたを悩ませています。そして神経の問題がそれをさらに悪くしている。そうでしょう？

もし私が主にお願ひすれば、あなたは良くなると信じますか？

心から？

ああ、愛しい年老いたお母さん。

皆さん、頭を垂れてください。

私は皆さんの時間をたくさん取ってしまっているのは分かっています。しかし、友よ、私はあなた方に語りたいのです。

私はあなた方を愛しています。

もしかすると、話しすぎてしまい、十分に多くの病人のために祈れていないかもしれません。

しかし私は、あなた方を一つのところへ導こうとしているのです。

皆が一度に――

神が私を再び召される前に、もう一度それを見たいのです。

あのように、皆が一度に――

それをもう一度見たいのです。

21 では、しばらく本当に静まりましょ。

一つ一つのケースに時間をかけていきましょう。

皆さんも見守りながら、信じてください。

さて、壇上では……(テープ欠落)……それを捉えようとしています。しかし捉えられないときは、私はただ語り続けます。すると主が、さらに、さらに、さらに示してくださいます。

そして、そこに信仰があると感じるまで続きます。

もし十分な時間そこに立っていれば、その御霊はその人が人生でしてきたすべてのこと、かかったすべての病や病気を明らかにすることができます。

それはできるのです。私はそれを知っています。

以前は、自宅で個別に扱うとき、相手を部屋に座らせ、ドアに鍵をかけ、誰も入れないようにしていました。そして終わるまで、ずっと一緒に座っていました。

しかし、このような集会ではそれができません。

そんなことをしていたら、集会が始まる前に私はほとんど倒れてしまうでしょう。

22 皆さん、本当に静まってください。

急がなくていいのです。

そしてお願いです。主の御霊が働いている間は、動き回らないでください。御霊が動いているときは、ただ敬虔でいてください。

もし一つ一つのケースごとにそのようにして下さるなら、私も皆さんに確かめる機会を与えます……私たちが時間をかけて進むならば。

皆さん、静まれますか？

ただ見守り、心から信じてください。

壇上で神が病人を癒される時、同時にあちらにいる方々も癒されます。

さて、友よ。あなたですか……。分かりました。

こちらを見てください、兄弟。少しの間。

今はまだ、はっきりと捉えられないようです。疲れのせいかもしれません。しかし御霊の油注ぎは感じています。

さて、兄弟よ、あなたはキリストへの信仰を告白していますね。今、心から信じていますか？

本当に心から？疑いはありませんか？

今ここにおられるこの御霊——今あなたの上にも臨んでいるこの御霊が、神の御霊であることに疑いはありませんね。

それは心理的な作用ではあり得ません。

神の御霊なのです。

そうでしょう？

心から信じていますか？

あなたはこの近くに住んでいますか？

この町ですね。

ここであなたに良い気分を与え、神の臨在をあなたにもたらしすることができるのなら、私が語ったことをただ信じなさい。そうすれば、それはあなたと共に留まり続けます。

34 さて、こう言うのはね、お嬢さん、あなたが少し心が揺れているからです。そして今はちょうど、少女の年頃の時期にいるからなのです。

お母様はこの建物の中におられますか？

……そうだと思います。外におられるのを感じました。

お母様、私が言っていることはお分かりですね？

これはただ、この子の今の年頃ゆえのことなのです。

だから、道を外れたりしないでください。

そのまままっすぐ進みなさい。

喜びなさい。

感謝しなさい。

そうすれば、すべてはうまくいきます。

信じますか？

「アーメン」と言いなさい。

アーメン。

神があなたを祝福してくださいますように、姉妹。

さあ、皆さん、静まって、今は主を賛美しましょう。

35 よろしい。こんばんは。

神経質になり、ひどく疲れやすい……腎臓……いや、背中ですね、脊椎のあたりです。そうでしょう？

信じますか？

これまであなたが祈ってきた、そのとおりに願い求めなさい。

何が起こったか分かっていますね？

姉妹よ、あなたは癒されました。

33 さて、あなたにさせていただきたいことをお話ししましょう。もし私が、あなたが学校で何をしていたか、そしてあの頃のあなたの人生のことを言い当てることができるなら……。私は語り続けていましたが、途中で途切れましたね。あなたは泣いていました。なぜなら、主の御霊があなたの上に臨んでいたからです。そして今も、その御霊はあなたの上にありますね。そのとおりでしょう？

あなたは本当に素敵な若いご婦人です。そして主のために働きたい、主の御業に仕えたいと願っているのですね。

さあ、私を信じますか？

もし今、私の言葉を受け取り、私が言うとおりにするなら、神はここで私が語ったとおりのことを成してくださいませ。

今夜ここを出るときには、本当に喜びに満ちて帰ってください。にこにこしながら出て行って、皆にこう言うのです。

「主が私を癒してくださった。」

もしそのとき、ほんの少しでも――

サタンが「いや、お前は癒されていない」と言ってきたら、

こう言いなさい。

「サタンよ、もう去りなさい。私の人生にあったことを言い当てられる人が、私は良くなると言ったのです。だから私は今、もう良くなっています。だから出て行きなさい。」

そのように、できる限り喜んでいなさい。忘れてしまいなさい……。

そして外に出たとき、自分の“読むこと”の違いをよく見てごらんください。それは即座に癒されているのです。わかりますか。

そして、あなたの神経質な状態はもう去りました。今、心が静かに感じるでしょう？ もう陰うつな気分はありませんね。

それは続きます。

少しこちらを見てください。

23 はい、兄弟。

あなたを悩ませているのは関節炎ですね。そうでしょう？

歩き方を見れば分かります。

こちらを見てください。できるだけ誠実な心でいてください。

兄弟よ、あなたの人生は決して楽な道ではなかったでしょう？

多くの悲しみ、多くの苦しみを経験してきましたね。

そして今も悩みの中にいますね。

その通りでしょう？

かつてのあなたは、この祈りの列には来なかったでしょう。

以前は不信者で、宗教に対して非常に批判的でしたね。

その頃、あなたは大きなことをしましたね……

あなた自身を傷つけるようなことを。

あなたは神を責めたり、神に対して呪うような言葉を言ったり、何か間違ったことをしましたね。

そうではありませんか？

兄弟よ、神の御霊によって語っているのですが、それに関する小冊子(トラクト)がありますね？

その通りでしょう。

24 そのことについてですが、それがあなたを傷つけましたね。

そのトラクトに関わったこと――

それによって、あなたは代償を払いましたね、兄弟。

今、あなたには多くの悩みがあります。神経的な問題もありますね。

家庭の問題もありますね。

ご自身の家の中での問題です。そうでしょう？

私を神のしもべとして信じますか？

主が語られることを、そのまま語ってよいですか？

ほかにも悩みがありますね。

性的な問題です。そうでしょう？性的な問題ですね。

私の言っている意味が分かりますね。

それをあなた以上によく知っているのは、神お一人だけです。そうでしょう？

今、心から信じますか、兄弟？

あなたの手を取らせてください。

頭を下げましょう。

天の父よ、あなたをご存じでないことは何一つありません。

今夜ここにいてくださることを、私は本当に感謝します。

この貧しい年老いた兄弟は、集会に来るために急ぎ、逃れるようにしてここへ来ました。しかし心ではあなたを愛しています。

神よ、彼のために道を開いてください。

彼は苦しみの中にいます。

あなたは、必要の中にいる者の近くにいると約束されました。

今、私があなたの御名によって彼を祝福します。

どうかすべての悩みが、太陽の前から雲が去るように消え去りますように。

今夜、彼の関節炎と、ほかのすべての問題から癒され、

新しくされ、完全に回復しますように。

それから……あなたには……がんがありますね。

そうでしょう？

今、心から信じなさい。

私にも家に小さな娘がいます。

あなたと同じように、彼女も祈っていることを私は知っています。

私はできる限りのことをします。主にお願いしましょう……。

私は主がしてくださると信じています。

天の父よ、

この青ざめた頬を伝って流れる涙をご覧ください。

主よ、この子に何ができるでしょうか。

あなたなしでは無力です。

このままでは、やがて衰弱してしまいます。

サタンは彼女をふるいにかけてようと望みました。

しかし今、私たちは祈っています。

父よ、この小さな姉妹を憐れんでください。

今この時、彼女の信仰を強め、その悪霊の力を退けることができますように。

父よ、私がここに立ち、あなたのしもべである限り、

あなたが今、彼女を癒してくださると信じています。

あなたは失敗なさいません。

あなたは主イエスだからです。

サタンよ、この少女から離れよ。

主イエス・キリストの御名によって、彼女から出て行け。

神の御子イエスのカルバリでの成し遂げられた御業への告白と信仰によって、今夜ここから去れ。

私たちはキリスト者として命じる。

この若者から出て行け。

神の御子イエスの御名によって、彼から離れよ。

アーメン。

31 よろしい……。

今、頭を上げてください。

私の生涯で初めて、はっきりと見ました。

黄色い……何かが這うようにして、そして向きを変え、あの少年から離れて行くのを。

兄弟よ、私は心から信じています。サタンよ、あなたは……。

神がこの少年を祝福されますように。

ただ神に感謝したいのです。

天の父よ、あなたの憐れみに感謝します。

この若者を祝福してください。

彼の人生が実を結ぶものとなりますように。

あの力が二度と彼に近づきませんように。

イエス・キリストの御名によって、外の暗闇へと縛られますように。

アーメン。

私の奉仕の中で、これを見たことは一度もありませんでした……。

32 (音声不明瞭部分あり)

あなたはあまり眠れていませんね……それが一つ。

神の御子、イエス・キリストの御名によって求めます。

アーメン。

25 こちらを見てください、兄弟。

私を見てください……。

あなたは癒されたと感じていますね？

そうです。あなたは癒されました、兄弟。

神があなたを祝福されますように。喜びながら帰りなさい。あなたのすべての悩みは今から晴れていき、すべて良くなります。

神があなたを祝福されますように。

(これをいただけますか？ありがとうございます。)

今、私が御前に立っている神はご存じです。ここに「神はおられるのか？私は神を呪った」と書かれたトラクトがあります。

天の神、私が今立っている御前の神は、私がそのトラクトのことを何も知らなかったことをご存じです。何も知りませんでした。

私はただ、彼らがそのトラクトを見たときに思ったのです……。

しかし主は、彼の心の奥深くにまで下りて行き、本当に秘密であることを明らかにされました。

イエス・キリストは昨日も今日も、いつまでも同じです。

神の前において失敗するものは何一つありません。

この人は、もう大丈夫です。

よろしい。

26 どうぞ……。

静まり、心から信じてください。

あなた、ここへ来る前に眼鏡を外しましたね？

それが信仰の持ち方です。その通りです。

手を出してください。

眼鏡だけではありませんね。

はい、あります。

あなたにはいくつかの問題があります。

まず、非常に神経質になっていますね。

その緊張が、目の乱視にも大きく関係しています。

そして今、更年期の時期に入っていますね。

(そうでしょう?)

それがあなたをとて神経質にしています。

それから……

手足にも何か問題がありますね?

片足に血栓のようなもの、いわゆる“ミルク・レッグ”のような症状がありませんか?

その通りですね。

アーメン。結構です。

神があなたを祝福されますように、姉妹。

あなたの信仰は、今、癒しを受けるにふさわしい状態です。

私を主のしもべとして、そして主をあなたの癒し主として受け入れますか?

それでは、頭を下げましょう。

父よ、信じる者にはすべてが可能です。

この姉妹の癒しを感謝します。

神よ、彼女が生涯あなたに仕え、幸せに歩むことができますように。

覚えておいてください。

てんかんのために祈っている間に、頭を上げたり、不敬度な態度を取ったりする人については、私は責任を負いません。

なぜなら、それは一人から別の人へ移ることがあるからです。

今、こちらを見てください。

何が起ころうとも、静まりなさい。

こちらを見てください。

どんなことが起きても、敬虔でいなさい。

私が「頭を上げなさい」と言うまで、頭を下げてください。

若い兄弟よ、こちらを見て、主イエスを信じなさい。

30 天の父よ、

この若者を縛っている悪霊の力の重大さを思いながら、御子イエスの御血が、ここにいるすべての人々の間に立ってくださるようお願いします。

主よ、ここに立って他の人々に仕えようとしている、あなたのへりくだったしもべを憐れんでください。

ナザレのイエス、神の御子よ、私たちを裁きによってではなく、あなたの憐れみによって見てください。

今、あなたのしもべとして——その資格もない者ですが、憐れみを求めつ——

この少年を縛っているサタンの霊よ、彼から離れよ。

彼から出て行き、外の暗闇へ去れ。

イエス・キリストの御名によって、もはや誰も悩ませるな。

この少年から離れよ、サタン、汚れた蛇よ。

キリストはカルバリにおいて、あなたの力を奪われたのだ。

いつ来るか分からず、突然襲って、そして去っていきますね。

思い出してください。

ある父親が息子を主のもとへ連れて来ました。

「主よ、あわれんでください」と。

主は言われました。

「信じるなら、できる。」

そうでしょう？

「信じる者には、すべてが可能である。」

父は言いました。

「この子には悪霊がいて、しばしば水や火に投げ込んで滅ぼそうとします。突然倒れてしまうのです。」

それは悪霊でした。

イエスはその霊を叱責されたとき、その少年は人生で最も激しい発作を起こしました。

しかし、それが去ったとき、すべては終わったのです。

29 もし今ここに主が立っておられ、今私が言ったことについて語られたなら……

医学者はそれを「てんかん」と呼びますが、主はそれを彼を悩ませる「悪霊」と呼ばれるでしょう。

そして主はあなたに祝福を宣言し、その霊からあなたを切り離されるでしょう。

信じますか？

私がイエスに願うなら、主がそれをあなたから引き離してくださると信じますか？

それでは、こちらへ来て信じなさい……(テープ欠落)

イエス・キリストの御名によって祝福します。

アーメン。

姉妹よ、あなたの信仰が……

あなたは癒されました。これから良くなります。

27 よろしい。

皆さん、静まってください。

次はどなたですか？

分かりました。

(その男性に向かって)……

「ユマラン・ラウハア(神の平安を)。」

その古い関節炎ですね。

心から信じてください。

それでは頭を下げましょう。

終わりましたよ、姉妹。

天の父よ、

あのバルト海沿いを通り、丘を越えて行ったときのことを思い出します。

数週間前、小さな列車が貧しいフィンランドの人々を乗せて進み、重荷を負いながら歩き、自転車を押し、多くの人々が何千と集まっていた光景を。

クオピオの山から下って来たとき、道端に横たわっていたあの小さな少年を見ました。

体は打ち砕かれ、死んでいました。無力で、顔は覆われ、息もなく、心臓も止まり、永遠に終わったかのように見えました。

しかし、主の幻を思い出しました。

その少年に手を置き、主の御名を呼んだとき、命が戻りました。

彼の体には一本の骨も折れていませんでした。

それはあの愛する人々の心をどれほど慰めたことでしょう。

ラップランドからも人々がやって来ました。

ああ、憐れみ深い神よ。

打ち砕かれ、死んで道に横たわっていた少年を生き返らせることのできる  
あなたが……

幻そのものが癒したのではありません。

神の御霊がなされたのです。

今夜、この姉妹を癒すことがおできになります。

関節炎です。

彼女を祝福してください。

今、イエス・キリストの御名によって、彼女の体から関節炎を叱責します。

アーメン。

(彼女に向かって)

恐れることはありません。

あなたは癒されました。

それはあなたから去りました。

回復していきます。

神があなたと共におられますように。

神があなたを祝福されますように。

28 皆で言いましよう、

「神に賛美あれ。」

アーメン。

ああ、本当に……。

こんにちは、若い兄弟。

手を見せてください。

心から信じていますか？

まだはっきりと捉えられません、兄弟。

私を見てください。

あなたは病気でなければ、ここに立っていないでしょう。

眼鏡をかけていますが、それがここに来た理由ではないようですね。

祈ってもらおう本当の理由は別にあるでしょう。

私を見て、心から信じてください。

何も疑わないでください。

兄弟よ、私はあなたの癒しにおいて、何かをする者だとは言っていません。

私は、主が告げられたことをするだけです。

主を愛していますか？

主に仕えたいと思っていますね？

てんかんですね。

その通りでしょう？

倒れる姿が見えます。

それは非常に強い力が襲うものです。

覚えておいてください、兄弟。

イエス・キリストはあらゆる病を癒されます。

しかしこれは、悪霊の力のようなものです。